Coelacanth seu Aquamarine at flat5

DATE : 21 NOV. 2021

REP. NATSUHIDE
EMAIL : info@natsuhide.com
CELL : 090 588 2447

DESIGNER NATSUHIDE
3D TAISHIDO SETAGAYA-KU, TOKYO 154-0004
natsuhide.com

STORY

深い深い海の底

3億5000万年前と変わらぬ姿

ターコイズブルーに輝くシーラカンス

緑が生い茂る、人形町の水槽に

At the bottom of the deepest sea

in the same shape as 350 million years ago

A coelacanth glowing in turquoise blue

drifting through the lush green aquarium of Ningyocho

MAVERICK（マヴァリック）の工房に眠っていた、とても珍しい色のネオン「アクアマリン」で作成しました。
ネオン管は、100年以上前にフランスで発明されました。視認性の高さから多くの国で広告看板などで使用され、時代と共に芸術作品として用いるアーティストも現れ、その役割は変化しています。
フランス製、アメリカ製、日本製があり、NYTのYこと山本さんが得意とするのは、細かな曲げを実現することができるアメリカ製のネオンです。

※Aquamarine ＝ ラテン語の「海水」を意味します。

REP.NATSUHIDE EMAIL : info@natsuhide.com CELL : 090 588 2447

DESIGNER NATSUHIDE natsuhide.com

flat5 neon : coelacanth

REP.NATSUHIDE EMAIL : info@natsuhide.com CELL : 090 588 2447

DATE : 17 NOV 2021

Neon Yup Torrid

ネオン・ヤップ・トリッド

通称、NYT（エヌ・ワイ・ティー）
2019年、デザイナー「夏秀」が中心となり新たなネオンの表現を追求するために結成。
ネオン職人「山本 祐一」、アーティスト「高橋 信雅」からなるアートユニット。

ARTWORK

- Briller Bread / breadworks TENNOZ / 2019. Permanent works
- night of falling stars / HYATT CENTRIC GINZA TOKYO / 2019. Christmas works
- SIDE ENTRANCE / HYATT CENTRIC GINZA TOKYO / 2020. Permanent works

---

2019年3月に天王洲アイル「 breadworks 」にて、7つの連作「 Briller Bread 」を初発表。同年12月には「ハイアット セントリック 銀座 東京」のクリスマスツリーを制作。NYTは、今までにネオン作品にはなかった新たな提案を行っている。
1）ネオンの調光システムを提案。（基本これまでネオンには調光するという概念がなかった）これにより、光を抑えたバーや店舗などでも雰囲気を壊さずに、朝から夜まで美しく優しく光る照明として成立させた。2）配線ダクトから直接ネオンを吊りさげる特殊な展示方法（山本氏の作品「リトルバード」2014より）を考案。360度どの角度からでも見える設計が可能になり、デザイン表現の広がりができた。3）ネオンにスポットライトを当てることで「光の影」を作り出した。新たな作品の予感。4）店内を利用して、窓ガラスや、床など空間にある様々な素材と共鳴する、リフレクション（反射）を提案。新たな作品の予感。5）接触距離の時の展示方法の提案。ネオン職人たちが見学ツアーを組んで作品を見にきた。6）ガラス越しにビデオ撮影した場合に発生するネオンならではの「点滅」も広告として利用。SNS時代の新しいネオンの見え方を定義している。

MEMBER

NATSUHIDE

Art Direction / Designer

1990年 横浜生まれ。
幼少期に見た「American Comics」に憧れ渡米。ROUTE66 沿いのネオン看板やアート、カルチャーに大きな影響を受け作品を制作している。
近年は、VANS、Manhattan Portage、IN4MATION といったアメリカ発祥ブランドへのデザイン提供を行う一方、様々なジャンルのメインビジュアル、WEBサイトなどの宣伝物、広告、動画配信用のビジュアルワークなどを手がけている。

Yuichi YAMAMOTO

Neon Works / Artist

1972年 大阪生まれ。
15才の時、アメリカンネオンアートの第一人者「Michael Flechtner」に出会いネオンアートの魅力に引きつけられる。
以来ネオンサインの製作に従事する一方、積極的にさまざまなプロジェクトに参加。やわらかくて、やさしい、心の温度をほんの少し温めてくれる光。
日々ネオンの新しい表現を模索している。

Nobumasa TAKAHASHI

Creative Direction / Artist

1973年 神奈川生まれ。
東京と鬼ヶ島に拠点を置き、やさしくニッチな作品を様々なジャンルで発表している。「ジャパニーズグラフィティシリーズ」では
漫画や日本の伝統的な手法も取り込み、Microsoft、CONVERSE、TYSONSなど企業とのコラボレーションも行なっている。
近年では、Sydney Opera Houseにてライブパフォーマンス、HYATT CENTRIC GINZA TOKYOの全客室、エレベーターのキービジュアルを担当。